

# まほろば秦野通信

平成28年5月2日

秦野市市長公室広報課

タイトル	<b>山女魚（ヤマメ）の住める川を目指して 溪流の女王 山女魚の稚魚を放流</b>
When (いつ)	5月8日（日曜日）午前10時～10時半
Where (どこで)	葛葉川上流 葛葉の泉広場付近（秦野市菩提2317-15）
Who (だれが)	秦野市職員の釣り同好会「景釣会（会長 佐藤尚文）」会員2人 及びOB9人 社会福祉法人 かしの木会「くず葉学園」の園生及び職員10人 程度
What (なにを)	景釣会では毎年この時期に、山女魚の住める川づくりを目指し、葛葉川・金目川に山女魚の稚魚（5～6センチ）約300匹を景釣会会員から集めた会費等で、山北町にある養魚所から購入して、放流している。
How (どのように)	葛葉川への放流にあたっては、放流場所に近い「くずは学園」に声をかけ、園生・職員も参加している。
Why (なぜ)	自然の生態系を考慮し、中流域に放流することになっている。 近年、25cmを超える山女魚を見かけたとの情報が聞かれるようになった。 ※葛葉川に放流するのは300匹のうち150匹。残りは市内の他の河川に放流。
過去の実績	今年で30回目。過去には秦野市内の酒匂川水系支流にも放流した。
今後の取り組み	職員の退職により会員が少なくなっていますが、景釣会OBや地元の自治会の協力のもと続けていきたい。
問い合わせ	上下水道局 水道施設課 佐藤 電話0463（83）2113